

みよしSDGs推進事業(三芳町)

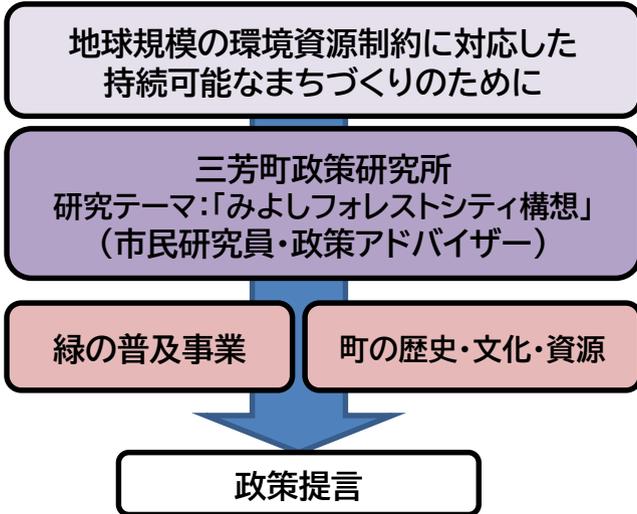
【目的】

みどりあふれ、環境と共生する豊かで持続可能なまちづくりのために、官民産の連携をはかりながらSDGsの推進をおこなう。

【概要】

武蔵野の平地林に代表される豊かな自然と共生した持続可能なまちづくりのため、政策研究所を立ち上げ、町に対して政策提言を行う。SDGsを「自分ごと」と捉えられるように、実生活に密着した体験を通じて、自分ができることを積極的に行う意欲を育む。

1 みよしフォレストシティ研究事業(33.5万円)



2 体験型みよしSDGs推進事業(243.2万円)



体験型SDGs講座を通じて、できる事を見つけ、継続して実施する力を養う

町・住民・企業

が一体となった

SDGsのまちづくりへ



日本農業遺産に登録された武蔵野の落ち葉堆肥農法。平地林と共生してきた歴史はSDGsの考え方そのもの。これからも持続的に自然と共生するための方針を模索するとともに、体験型SDGsによって住民主体のSDGsの推進をめざす。

要望額: 180万円(総事業費: 285.7万円) 補助率: 2/3